……………………………………………………………………………………………
ーー
◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇　≪５　コ ラ ム　≫　◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
ーー

世界遺産・平泉で相撲の股割り？！

岩手産業保健総合支援センター　（ＮＳ）

立春前に、札幌で働いている娘が、遅い正月休みを取って岩手に来るというので、妻と一緒に花巻空港に迎えに行きました。

オンタイムに航空機が着き、三人で駐車場の車に向かいましたが、途中、妻が見事両足を宙に浮かし、ドンとしりもちをつき、驚きと痛みでしばらく雪の上に座ったままでいました。どうやら、前夜降った雪が地面の上にうっすらと積もり、凍った場所に気付かなかったようで、妻の姿を見て私が大笑いしていたら、娘に叱られてしまいました。

娘が、花巻空港の観光ポスターを見たのか、平泉・中尊寺の金色堂を観たいと言い出し、娘は初めて、私と妻は数十年ぶりに平泉・中尊寺に向かいました。

小雪舞う静かな週末で、観光客も少なく空いているだろうと思いながら中尊寺下の駐車場に車を置いて月見坂をのぼり始めると、団体客の一団が月見坂をおりて来て、雪で滑って転びながらも笑いつつあげる悲鳴の声が、日本語ではなく中国語らしく、さすが世界遺産の平泉、世界の観光地なのだなと、数十年前の平泉を知っている私は、隔世の感を禁じ得ませんでした。

金色堂、旧覆堂を見学後、能楽堂に向かう緩やかな雪の坂道で、歩いて踏み出した私の足が突然意識と別に前に滑って出ていくのが分かり、一瞬、バレエのスプリッツ（前後開脚）を演じるのかと思いながらもこらえ、しかしこらえきれず、前後斜めにスローモーションで足を開くというみっともない開脚転び（？）、私の場合はスプリッツとは程遠い相撲の股割り状態となってしまいました。

数時間前に妻の不幸を笑ったバチが当たったようです。

世界遺産、雪の平泉での転倒事故（？）でしたが、雪の新覆堂・金色堂を掲載している岩手労働局のホームページ（ＨＰ）「重要なお知らせ」に「冬季における転倒災害・交通労働災害防止について」が、掲載されています。

そこには、「岩手県内において、平成26年1月、2月に発生した転倒による労働災害は、１年間に発生した転倒災害の約１／３を占めています。」とあり、「転倒」という身近な（？）災害の多さに驚きます。

また、転倒災害は骨折災害につながり、休業見込が1カ月以上となる重傷災害にもつながる等、「転倒」を軽く考えていられないと認識しました。

ぜひ、各事業場でも「冬季における転倒災害・交通労働災害防止について」の「転倒災害防止のためのチェックリスト（事業主・管理者用）」をチェックし、「いいえ」の項目は、早急に改善し、また、気を付けていても、転んでしまうことはあるので、ケガをしないよう、日頃から適度な運動を心掛け、冬季転倒災害の防止に努めていきましょう。

……………………………………………………………………………………………
ーー